

Town Gallery

TOWN GALLERY

お滝様の護摩焚き(7月28日)

至孝農のお滝様の滝で護摩焚きが行われました。

高さ約5メートル、幅約1メートルの滝は、2つに分かれて落ちることから、別名「夫婦滝」とも呼ばれており、その名に由来するように、滝には不動明王(ふどうみょうおう)と龍樹菩薩(りゅうじゅはさつ)が祀られています。

毎年7月28日に行われているこの護摩焚きには、今年も地元の方約30名が集まり、神聖な空気の中で祭事が行われました。

祭りの後は、澄み切った滝の水を使った流しそうめんが振る舞われ、滝川から吹くさわやかな風とともに、ひと時の涼を楽しみました。



鏡野町大納涼祭2007(7月29日)

『鏡野町大納涼祭2007』が、奥津湖総合案内所「みずの郷奥津湖」をメイン会場に開催され、約3万人もの来場者で賑わいました。

鏡野町大物産展には今年もたくさんの屋台が店を構え、地元の特産品が並びました。

また、舞台では鏡野ソーラン踊りや大ビンゴ大会などが行われ、イベントを盛り上げていました。

クライマックスには2500発の花火が夏の夜空を染め上げ、来場者の歓声が響きました。



土器作り体験(8月17日)

7月7日に実施された博物館体験講座「埴輪や土器を作ろう!」で、町内の小学5・6年生17名が作った土器や埴輪約40個が、1ヶ月間の乾燥を経てわんぱく広場で野焼きが行われました。

猛暑の中、土器作りから参加していた8名の小学生たちが、昔の人々の生活に思いを馳せながら、およそ4時間かけて縄文〜弥生時代の製法そのままに焼き上げました。



100歳訪問(8月15日)

山崎まさのさん(富東谷)が満100歳を迎えられ、柏葉美作県民局健康福祉部長、山崎町長らが自宅へ訪問し、記念品が贈られました。

鏡野町内では13人目の満100歳となられた山崎さんは、「食べ物は何でも好き嫌がなく食べられる。」と元気に答えられ、週1回のデイサービスを何よりも楽しみにされています。

赤い色が大好きな山崎さんには、お孫さんたちから赤い花束が贈られ、明るい笑顔を見せてくださいました。

